

中学校第3学年 国語科学習指導案

- 1 単元名 読み比べて自分の考えをまとめよう ～2つの評論から～
教材名 「テクノロジーとの付き合い方」池内了 (東京書籍 新しい国語3)
「テクノロジーと人間らしさ」黒崎政男 (東京書籍 新しい国語3)

2 単元とその指導について

(1) 生徒観

中学3年生のこの時期には、説明的文章の読解では文章構成や論理の展開の仕方が筆者の主張にかかわることを学習している。しかし、読書の傾向を見ると、ファンタジーや平易な文章の小説が多く、教材として教科書に取り上げられているような評論は、生活の中では読んでいないと思われる。前回の説明的文章の学習では、日常の言語生活で使えないような語句もあったが、意味を調べ分類・整理することで、筆者の主張を理解して自分の考えを簡潔にまとめることができた。読み方を学ばせることによって、抵抗感をなくし積極的に読む態度を育成したい。

(2) 教材観

2つの教材はいずれもテクノロジーと人間とのかかわりについて書かれた評論である。

「テクノロジーとの付き合い方」は、「人間」が作り出したテクノロジーによって、「ヒト」の能力が衰えている現状に危機感をもち、2つの側面の調和を訴えている。そのため、「ヒト」と「人間」という対になるキーワードによって論述されている。一方、「テクノロジーと人間らしさ」は、人間はテクノロジーに巻き込まれ、テクノロジーによって変容する存在であることを自覚して、冷静な対処が必要であると訴えている。一般的によく見られるテクノロジーへの批判を取り上げて、一つ一つ根拠を示しながら反論し、筆者の主張へとつなげる書き方である。

文章を単独で読むだけでは、どうしても筆者の主張を論述に沿ってそのまま受け止めてしまいがちである。それでは自分の知識や経験と関連付けて問題点を明らかにするなど、建設的に批判するような読みの力は付かない。文章の表現には書き手の目的や意図が表れるものであり、この2つの評論は、そうした書き手の意図と表現の仕方のかかわりについて考えさせるのにふさわしい教材といえる。また、文章に示されている筆者の物の見方や考え方を自分の考えと対比したり置き換えたりして、自分の問題としてとらえさせ、ものの見方や考え方を深めさせたい。

(3) 指導観

どちらの評論により説得力があるかについて、立場を明確にして自分の考えを書くことを目的とし、2つの評論を読ませる。初発で、どちらの評論に共感するのか、またその理由は何か、について自分の考えを160字程度で書かせる。この段階では、内容についての考えのみであることを確認し、ではなぜその主張に共感するのか、根拠がどのように書かれているから説得力があるのかについて考えをまとめることを学習課題として設定する。それぞれの評論の考えの方向性、表現の仕方、論述の仕方など文章の特徴と、それが筆者の主張に説得力を与えるためにどんな役割を果たしているかを明らかにする。筆者の表現意図を解釈し、評価しながらどちらの文章に説得力があるのか判断させたい。大人が書いた文章、しかも教科書教材を評価するのは、初めてのことであり、難しさを感じる生徒も多いと考えられる。そのため、4人グループでの話し合いと、学級全体の交流によって授業を進めることで、抵抗をなくし、主体的に学習に臨めるよう工夫したい。

(4) 言語活動について

ア 文章を評価して自分の考えを書く

- (ア) どちらの評論により説得力があるのか，理由を明確にして文章を書く。
- (イ) 人間とテクノロジーとの関係について，自分の考えも書いて文章をまとめる。
→評価する立場に自分を置くことで，より主体的に文章を読むことになる。
→文章化することで，自分の考えを整理し自覚することができる。

イ 話し合い活動

- (ア) それぞれの評論について，特徴を見付け出し学級全体で意見を交流しながら確認する。
- (イ) 主張と文章の特徴とのかかわりを考える。
→2つの文章を比べて読むことで，両者の違いがはっきりと認識することができる。
→グループごとの意見を交流する際，既に出された意見以外の内容を発表するか，付け加えをして発表していくことで，集中力が高まり，学級全体の学習内容が深まっていく。

3 単元の指導目標

- 論理の展開の仕方と主張とのかかわりなどを評価しながら読むことができるようにする。
- 2人の筆者の書き方に着目して評価し，自分の意見を書くことができるようにする。

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	ア 2つの評論のどちらに共感するか，根拠を明らかにして自分の考えを述べるために，読み比べている。 <p style="text-align: right;">【C読むこと (1)ウ】</p>
読む能力	イ 表現の特徴や論述の仕方など，それぞれの文章の特徴を整理している。 <p style="text-align: right;">【C読むこと (1)イ】</p> ウ 主張と文章の特徴のかかわりを考えながら，2つの評論を評価しながら読んでいる。 <p style="text-align: right;">【C読むこと (1)ウ】</p>

5 単元計画（全5時間 本時4／5）

時	主な学習活動	教師の指導・支援	評価とその方法
1	○2つの評論を読んで，どちらに共感するか，根拠を明確にして160字以内で書く。 ○「読み比べて自分の考えをまとめよう」という学習課題を設定し，学習計画を立てる。	○いずれの主張に，より共感するか，自分の考えと，その根拠を明確にさせる。 ○なぜ共感するのかについて，文章の特徴から考えるための課題を設定させる。	ア 根拠を明確にして，自分の考えを書いている。 <p style="text-align: right;">【学習計画表】</p>

2	○「テクノロジーとの付き合い方」の文章の特徴を整理する。	○グループで気付きを話し合わせ、文章の特徴を整理させる。 ・考えの方向性…未来への提言 ・表現の特徴 …他の人の考えを引用 ・論述の仕方 …対立する意味のキーワードを並べる	イ 表現の仕方や論理の展開の仕方など、それぞれの文章の特徴を整理している。 【本文ワークシート】 【観察】
3	○「テクノロジーと人間らしさ」の文章の特徴を整理する。	○グループで気付きを話し合わせ、文章の特徴を整理させる。 ・考えの方向性…過去からの教訓 ・表現の特徴…淡々とした表現 例 素朴すぎる 一万年遅い ・論述の仕方 …一般的な批判に対する反論	イ 表現の仕方や論理の展開の仕方など、それぞれの文章の特徴を整理している。 【本文ワークシート】 【観察】
4 (本時)	○筆者の主張と文章の特徴との関係を考えて整理する。	○筆者がどのように論述して読み手を説得しようとしているかについて考えさせ、主張と文章の特徴のかかわりについてワークシート1に整理させる。	イ 作者の考えが表れる言葉に着目して筆者の主張の理解に役立てている。 【本文ワークシート】 【ワークシート1】 【観察】
5	○2つの評論を読み比べて自分の考えを400字以内で書く。	○書き手の意図と文章の特徴とのかかわりについて、自分の考えを支える部分を具体的に挙げながら、どちらの評論に共感するのかを書かせる。	ウ 主張と文章の特徴について、2つの文章を比べて評価しながら読んでいる。 【本文ワークシート】 【ワークシート2】 【観察】

6 本時の指導

(1) 本時の指導目標

2つの評論の主張と文章の特徴とのかかわりから、筆者の意図をとらえさせる。

(2) 本時の展開 (4/5)

過程	学習活動	教師の指導・支援 *評価
導入	1 2つの評論の文章の特徴を確認する。 2 学習計画表を見て、本時の学習課題を確認して見通しをもつ。	○論述や表現の仕方について確認する。 ○読み比べて、筆者の主張と文章の特徴とのかかわりから、どちらに共感するかをまとめることを確認する。

